

子供占い

こんにちは、はじめまして、HAMA です。この度は KEY&DOOR をご利用いただきましてありがとうございます。お子さんが不登校になってしまって心配だということですが、本人の資質を考えると意外と悪くありません。むしろ、アリだと考えます。

僕は学校の先生でもないし、スクールカウンセラーでもなければ、親でもありません。占い鑑定士の立場からお子さんを占っていきます。お願いしたいことは、不登校の子供を落ちこぼれ扱いしないでいただきたいということと、マイナス面ばかりを強調しないでいただきたいということです。それは先生も、友達も、親族も、そして本人にもです。では、さっそく占っていきましょう。

娘さんの素質

手の画像を送っていただきましたので、こちらを主に占っていきたいと思います。現在中学2年生でこの春から3年生になるということですね。手相から判断するに、娘さんは大人よりも考え過ぎるくらい頭が良く、またプライドが高く、大胆な割にマイナス思考が強く、さらには気を使い過ぎて神経が疲れやすいと言えます。素質というのは、良く作用して長所、副作用として裏目にでると短所です。なので、素質を見抜き、その子にあった環境に置いてあげることです。

常識や社会的な経験がないことと、頭の良し悪しは違います。ルールや慣習に従わないことと自分勝手も違います。また、テストの点数が高いことと思考力があるかということも違います。娘さんは勉強ができないから不登校になったわけではないでしょう。適応できないとかイジメとかでもないでしょう。思考の適応能力は平均よりも高いとみます、つまり、理解力は人よりも優れているということです。しかし、それを行動にして現実の摩擦に耐えられるかということと辛さがあるでしょう。

先に「気を使い過ぎて神経が疲れやすい」ということを書きましたが、集団生活で必要なのは、気遣いや空気を読むことよりも、無神経であることです。「周囲から見る良さ」と「自分から見る良さ」は違うのですが、娘さんは大人よりもよほど気がまわり、空気どころか「空間を読んでいる」とみます。そして周囲が求める役割をきちんとこなすことができるでしょう。しかし、その反面で自分の中に「バカばかりのために気を使う虚しさと心労」が溜まっていくでしょう。

「自分の意見を言える人がスゴイ」みたいな風習がありますが、裏を返すと、その半分以上は自分の感情や自分の利益、良くても自分の仲間だけしか見えていないから、つまり関係の薄い人や、間接的に関わる人のことを考えていないから発言できている、と言えます。周囲のバランスを十分に考慮された上での発言をしている人などほとんどいません。

また、一般的に「空気を読む」レベルというのは、「その場にいる人間の顔色を伺う」くらいのことを指しています。「空間を読む」というのは、そんな顔色よりももっと必要な要素を読み取ることです。

例えば、女の子同士で楽しくおしゃべりをしている場面。「空気を読む」レベルの人はそ

のおしゃべりにのっかっていき楽しさを共有する。しかし、「空間を読む」レベルの人から見れば、「そこで固まってしゃべっていると邪魔だし、うるさくて周りが迷惑する」ことに気づき、むしろ遠ざかる。

例えば、学校のイベントで、「皆で決めたことを頑張ってみよう！」という時に、「そもそも皆で決めたというか、人気者が発言して YES マンが賛成してるだけで、方向としてはむしろ間違っている。プランも穴だらけ。先生もそれを解っていないで、ノリで OK をだしている」と分析し、「ただ、ここで意見を言っても、採用されないどころか、雰囲気水を差した厄介者扱いされるだけ。人気は正しさに勝ってしまう。いらないことは言わずに黙っておこう」と諦めてイヤイヤやらざるを得ない。しかも、無神経な人は、そんな犠牲があったことすら気づかない。

不登校の理由を推測するに、恐らく「つまらない。くだらない。面白くない。あの場所にいるだけで神経が疲れる」そんな理由ではないでしょうか。

学校の授業ではなく、他に興味のあることを勉強するならぜひやらせていただければいいです。学校にはいきたくないのにダンスのクラスは熱がなくても休まないとか、教科書は全然開かないのに、好きな作家の読書は何時間も続けるとか、周囲から見たら意味のないようなことを本人は真剣にやっている、というようなことがあれば、それも取り上げずに、思う存分やらせてあげてもいいでしょう。

提案

義務教育があと1年ありますが、そうした現実を無視して、占いから答えを導きだすと、「一芸の世界に飛び込ませるか、大人の中に混じって早く働くか、外国にでも留学させた方がいい」と言えます。というよりも、「なるべく早く自立させてもいい」と言えます。ここで言う自立とは、生活の自立という意味で、生活費を全部とは言いませんが一部でも自分で稼いだり、自分で食べるごはんを自分で作ったり、身の回りの家事を自分でやって、「生きる」代償（お金や時間や手間）を自分で払ってみることで。そして、生きていくために、自分が必要なことを自分で実感していただくことです。

ただ、実家で楽をしながら好きなことだけを勝手にやるのではなく、生きる代償を払わせることです。現実的に学生は学業が仕事です。その仕事をしないなら、他の仕事をする必要があります。また、一般的な学業という仕事に意味を感じられないなら、特殊な学業をやるか、学業をしなくてもできる仕事をやらせて、その給料がどれほどかわかってもらうことです。生活費を払わずに、ただただ自分の小遣いだけを稼ぐなら、中学生にとって月に何万円かもらえれば大金でしょう。しかし、生活費を払うことで、「こんな給料では生活は苦しいし、好きなものも全然買えない」と実感し、「自分は世間一般的な舗装された道から外れるのだから、自分で自分の道を作りながら歩いていくしかない」と決意してもらえるのがいいでしょう。

向き不向き

ハッキリ言って、一芸だけで生きられるマイノリティー（少数派）な分野がいいでしょ

う。解りやすく言えば「みんなができること自分にはできないけど、誰もできないことを自分はできる」という技術を持ち、「誰もがまあまあ満足することよりも、嫌いな人もいるけど好きな人を大満足させることができる」ことが向いています。

先に書いた「大胆な割にマイナス思考」という素質は集団生活の中では厄介ですが、個人能力を問われる世界では大いに役立ちます。大胆というのは、良くも悪くも周囲の慣習や予想を超えることができる独創性。マイナス思考というのは、悪く言えばビビリやすくネガティブですが、物事のマイナス点を見つけやすく、自己満足もしにくく、どんなに高いレベルにいてもまだまだ上を目指す人に多い素質です。それらを上手く活かすことです。学校の集団生活が合わないなら、大手企業なども合わないでしょうし、一般的な職業も合わないでしょう。だったら、マイノリティーな世界しかないのです。例えば、ウェブ（インターネット）の世界。学校などの地区限定ならばマイノリティーでも、世界で見ればユーザーを獲得できたりします。もっと広くアバウトに言えばクリエイティブの世界。しかも、誰かと協力しながらではなく、極力1人でできる分野を選ぶとよいでしょう。

余談ですが、本は10万部でベストセラーと呼ばれ、100万部突破すれば大ベストセラーですが、日本での対象(幼児などを抜く)が約1億人とすると、100万部は1%です。テレビドラマの視聴率が1%なら最低レベルですが、本となると1%で最高レベルです。もう少し言えば、テレビドラマは30人クラスの中でも結構見ている人が多いですが、本は100人に1人が読んでるか読んでないかという程です。そう、広く考えれば1%というのはかなり多数です。99%の人に受け入れられなくても、十分にやっていくことはできます。

なんでもいいのですが、今すぐ自分でできることを初めてもいいでしょう。まあ、最初から上手いかなくて失敗して当たり前。やってみて全然ダメだとわかったら自分で分析したり勉強してみたいかどうかがでしょうか？学校で義務としてやる勉強と違って、自分の目的のための勉強は楽しくやれるのではないのでしょうか？

まとめ

お母さんは学校にちゃんと行って結婚して出産してと、女性としてマジョリティ（多数派）側にいるので、娘さんのようなマイノリティ（少数派）に不安を感じるかもしれませんが。しかし、マイノリティにはマイノリティの生き方があります。なので性格や人格を強制しようとしなくていいことです。ただ、先にも書いたように、多数派の世界から外れるならば何かの特化した技術を身につける必要がありますから、そこは甘やかさなくていいでしょう。独りで生きていけるように千尋の谷に突き落とすとしても構いません。それで本人に生きる術が身に付くなら願ったりです。

この鑑定結果はなるべく中学生でもわかるように書いたつもりです。本人に見せていただいても構いませんし、見せなくても構いません。アフターサービスとして質問や疑問にお答えしていますので、質問や疑問があればなんなりと聞いてみてください。